

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)サンキョードラッグ平野店 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境		2.2	0.15					2.2
1.1 騒音		1.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.98					
2 界壁遮音性能		3.0	0.02					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		3.0	0.35					3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.49					
2 外皮性能		3.0	0.17					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.34					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50					
1 昼光率		3.0	0.02					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.98					
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御		3.0	0.50					
4 空気質環境		2.7	0.25					2.7
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		2.9	0.30					
1 換気量		3.0	0.49					
2 自然換気性能		1.0	0.01					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.49					
4.3 運用管理		2.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		1.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					2.8
1 機能性		3.0	0.40					3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.01					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.01					
3 バリアフリー計画		3.0	0.97					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観		3.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20					

2.4 信頼性			2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			2.7	0.30		-	2.7
3.1 空間のゆとり			2.0	0.30		-	
1	階高のゆとり		2.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		2.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.82 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50		-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明採用,敷地内に緑地面積を確保し、緑地面積2.8%である。	4.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)						-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			3.0	1.00		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング						-	
4.2 運用管理体制						-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.5
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60		-	2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20		-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	-		-	
3 冷媒			2.0	1.00		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.4
1 地球温暖化への配慮		積極的に省エネルギー対策、CO2排出量14%である。	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			2.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	